

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:

株式会社 津末青果

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・週1回の全体会議で経営者より会社のあるべき姿や、経営目標の発信を通じて社員全員で共有することにより、社員一人ひとりの主体的な行動に繋がっている。									8	9													17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・飲酒運転等を含む法令遵守強化の為、経営者より社内ですべき最低限のルールについて全社員に周知徹底している。																							16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・仕入に係る価格交渉や、請求書管理については、担当者を選定し、不当な値引き圧力がないか経営者が最終確認する体制を構築している。														10									16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者を設置し、自らの事業活動が社会・環境に及ぼす正と負の影響を把握している。																							16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産や営業秘密保護の勉強会や研修を実施している。知財にはこれまで培った技術、経験、ノウハウを含む。									8.2	9														
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・取引先や社員の個人情報は、パスワードを設定しデータ管理を行うと共に、一部の担当者のみ閲覧できるように厳重に管理している。																							16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・安定した青果物供給の為、農業生産者との定期的な情報交換を行いステークホルダーに及ぼす影響の把握に努めている。																							16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先の活動、取り組みに関心を持ち、取引先からのアンケートの回答や生態系への悪影響の防止等定期的な情報交換を通じて積極的な対話に努め、持続可能な社会づくりに向けた取り組みに貢献している。					5				8		10		12	13	14	15	16	17						
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・【予定】令和5年4月までにBCP策定を行い、毎年見直しを行いながら社員への周知を行う他、BCPを活用し避難訓練を行う。											9			11			13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9													17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●									1	2				8					12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・全従業員の雇用条件において、差別しない体制・運営を徹底している。また、ハラスメント禁止について、就業規則に定め全員が働きやすい環境の整備に努めている。				4.3	5.1				8.5		10.2										16.1			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・アルコールチェックにより飲酒運転撲滅を実施すると共に、フォークリフトの講習及び高齢社員には定期的に高齢者講習受講を行い業務中の事故防止に努めている。			3						8.8															
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の公正な待遇の為、同一労働同一賃金の原則に沿った対応を行い、就業規則に明文化している。					5.5				8.5		10.2	10.3												
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・時間外労働の削減等、働き方改革の取り組みを推進すると共に、産休制度の活用により社員が働きやすい環境の整備に努めている。			3		5.5				8.5	8.8	10.3													
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得のための費用補助制度を導入している。 ・営業のロールプレイングや模擬せりを社内で行う等、若手人材の教育を積極的に行い、社内の教育体制を確立している。				4	5.5				8	9														
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・人間ドック及び健康診断の経費補助を行う他、事業所内で分煙を実施し健康増進への取り組みを行っている。			3						8														17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格時に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・再雇用制度の導入等、ダイバーシティ経営に取り組んでいる。				4.4	5.1	5.5			8.5		10.2	10.3										16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等導入している。	●		・時差出勤やWEB会議を導入し、新しい生活様式に対応した環境を整備している。			3						8	9.1		11	12											
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・伝票の電子化やECサイトの構築によりDXの推進を強化している。 ・【予定】令和5年4月までに勤怠管理システムを導入し、更なる効率化を推進する。									8	9.1		11	12											
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9			12											

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 津末青果

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・農家生産者から規格外商品を仕入れ、商品の流通機会を創出することで廃棄物の削減に貢献している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・LEDへの切替を行うと共に、オフィスでの節電に取り組んでいる。 ・【予定】令和5年4月までに、簡易計算シートを用いて、エネルギー使用量を把握する。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・PHV車を導入し、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。 ・【予定】令和5年4月までに、簡易計算シートを用いて、CO <sub>2</sub> 排出量を把握する。			2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・仕入、販売戦略において、極力ロスが発生しないビジネスモデル構築により、環境負荷低減に貢献している。 ・商品配送時、再利用可能なコンテナを利用する等環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・商品の発送時、青果物へのシール添付廃止や、過度な包装を避けることでリデュースに取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所にウォーターサーバーを使用すると共に、節水呼び掛けしている。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.a					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境に配慮した事務用品の利用を促進する為、グリーン購入を推進している。											9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・仕入、販売戦略において、食品ロスが発生しない工夫を行っている。 ・地元生産者からの規格外商品を飲食店等に寄附することで食品ロス削減に取り組んでいる。	1	2					6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・地元の農家生産者の草取り等を積極的に行い、環境保全に貢献している。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・商品の発送時、過度な包装をさけることでプラスチック削減に取り組んでいる。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	



SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 津末青果

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・生鮮青果物の仕入及び配送時、温湿度管理の仕組みを構築することで品質保持に貢献している。			3.9						9		12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・誰もが使いやすい商品パッケージにするために、使いやすいフォントやデザインに配慮している。									9.1	10	11.7							17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●	●	・地元食材の積極的な利用を通じて、地域経済の発展に貢献している。			2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●	●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●	●	・ECサイトを通じて、県産品を中心とした商品の販売や減農薬青果を全国へ届けると共に、世界に流通させている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●	●										8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・災害ボランティア活動や、災害時の食材寄附を通じて社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。 ・熊本県ひとり親家庭福祉協議会へ食材の寄附を通じて社会課題解決に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●	●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●	●											9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●	●	・事業活動において社会課題の解決に繋がる取組みを推進するとともに、金融機関との定期的な連携により課題解決と進捗の共有を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●	●	・中学生のナイスライを積極的に受入れ、職業の学びの場を提供している。				4				8.6		10.2								17
49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●	●	・地元の学生を積極的に雇用し県内就職の促進に繋がる取組みに貢献している。					4.4				8.5 8.6									17	
50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●	●				2		4.3 4.4 4.5			8.6		10.2		12	13	14	15		17		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。